

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）10

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785

195

28

2
4
8
1

(
+
-
+
-
)

2. アイチ大臣記者会見

(11/12日、総理、マイヤー大使会談後)

(大臣) 「総理、マイヤー大使会談は4時半から1時間足らず行なわれた。(外務大臣、トウゴウ局長、アカタニ審議官、チベ北米課長、同席)内容的には何もなかった。

マイヤー大使から、「御出発も近づいたがニクソン大統領



領としてはたのしみにして総理をお待ち申し上げており、従つて心置きなく立派なトップ会談をおやりいただきたい。双方満足のゆくように会談ができるようお互いに努力しましょう。」と正式なものとしてはそれだけであつた。

また私に対しては、國務長官と3回も会談をやられ、その後自分が命令をうけ何回となく会談をしていただく等非常によく準備をしてもらつたことに対し自分としても感謝し本国政府もアブリシエートしていると言つていた。」

(問) 「時間が長かつたのはどういふことか」

(大臣) 「長いようでも突のある話はあまりなかつた。ワシントンでの会談の日程等は既にきまつている。まあ、ご承知のような点が残つてトップ会談に入るといふこととで、今後ワシントンに行くまでは、日米交渉の関係では新しい情報とか訓令とか新しい発展はなくなつた。トップ会談でワン・パッケージでやることになつたわけで、総理にふん関してもらい、私も大いにチエをしぼらなければならぬ。」

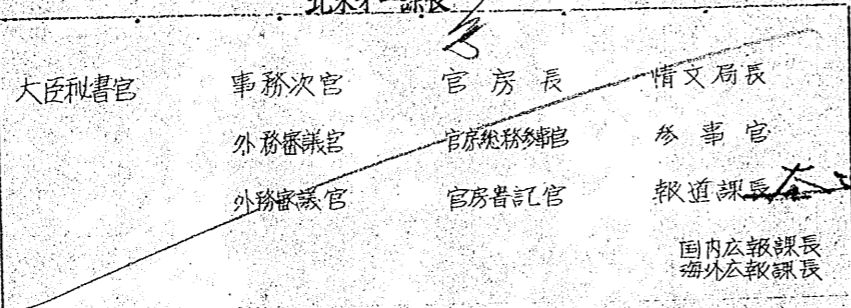
(問) 「核問題について総理から何か言われたか」

(大臣) 「核問題に限らず、日本側の主張は、こちらからくり返しくり返し述べておりマイヤー大使もそれを承知している。ただマイヤー大使は、「初めは、そんなに時間を要しないで予備的な準備はできると思つていたが、それはけいそつな見通してあつた。両国にとつて本当に難しい問題でしたね」と言つていた。」

アメリカ局長

参事官

北米一課長



外務大臣記者会見記録 (11月11日午後)
5:40-6:00
(総理、マイヤ-大使会談後)

ア
メ
リ
カ
局
長
の
記
録

大臣「総理、マイヤ-大使会談は4時半
から1時間足らずに行なわれた。(外務大臣
東御局長、赤谷審議官、北米一課長同席)
内容的には何もなかった。
マイヤ-大使から、御出立も近かったが
ニフソン大統領は、^{として}堅く決意して総理を
お待ら申し中であり、従ってお置き

なく立派なトップ会談をおやりいたされた。
双方満足ゆくように会談できたようか
互いに努力しました。正式なもの
としてはそれだけであつた。
長私に対しては、國務長官と三回も会
談をやられ、その後自分や命令も受けて何回
こなく会談をして... ~~た~~ ~~く~~ 等非常
により準備をしておられたことに対し自分
としても感謝し、本国政府もアグリエーに
て... と言つていた。

問「時間が長かったのはどういふことか」

大臣「長... 上って実のある話はある

な... 7シートで、会談の日程等は既に

きまつて、まあ、ご承知のようなきが残り

うてトップ会談に入るといふことで、今後ワ

シントンに行くまでは、日本交渉の周縁では

新しい情報と、訓令とが新しい答返はなく

な... トップ会談でワンパッケージで

やることになったわけ、総理に奪回

してもら... 私と大いにイエをこぼら

な... は「ならぬ...」

問「核問題について総理から何が云われたか」

大臣「核問題に限らず、日本側の主張は、こちら

から繰返し繰返し述べてあり、マイヤ大使

もそれを承知している。た、マイヤ大使は

「~~核~~ ^核は、それ以上に時間を要しないので予備

的な準備はできると思っていたが、それ

は軽率な見逃してあった。問題が兩國

にとって本当に難しい問題で、いたね」

と言った...」

極 秘
無 期 限
部の内
号

大臣	参局长	PMO局長
次官	参官	参事官
参事官	参事官	参事官
佐藤總理、大石次大臣 公使		
84. 11. 11		
大石一長		
本 11日午後(16:30 以降 1時間余)の公使 概要		
次のとおり。		
(出席: 総理、愛知外務大臣、 ^{東郷} PMO局長、参事官(正副)、大石一長、小杉参事官、大石次大臣、大石公使、マコニール参事官)		
(帰国 大臣は 16:00 以降 出発・日程は上下両院 議事録内にもあるが、準備交渉は大臣-大臣間の 12月 10日、精力的に行なわれ、極めて有用な結果 (総理に大石参事官) 発言)		
大臣: 本日は大石次大臣の公使に 臨席を依頼するが、総理にお伝えしたいとの		

2
訓電拝到、大石と驚くような内容であったが、以下内容を御説明した。なお
文書に(大石)を差し上げた。(注: 別添英文)
1. 大石は総理 御来訪を心待ちにしており、両国の共通の利益、特に沖縄問題の検討が双方の共同の利益に資するものと見做され、
2. 共同声明書は 核部後の在沖・在米土 基地の通帯兵に及ぶ使用に拘る 共通の理解を高度に反映しており、
大石はこれを総理と確認する ことと期待。
3. 先月愛知外務大臣より 閣下 概ねこの 旨の旨と御案内がなされたが、その 旨に及ぶ 閣下 概ねこの旨に及ぶが、お話しした。

核兵器の貯蔵 (nuclear storage) は大向きの
大統領は総理と二かにつき^とお行い。

大統領は総理と二かにつき政治的
同情の^と理解を有していることを知

頂きたい。同時に核兵器の地域での
戦力の至大 (vital) 要素で、上流の sense

of the Senate 決件 (11-11-1954) は貯蔵
制限の如何なる提案も米国の重なる

戦略的 政治的 問題と惹起すべき
憲章 (underscore) している。

米側の希望は両政府の^と本問題討
の最善の取り決め作成にあり、おこ

大統領は総理との会談で双方より
本問題の協定を^と何等の
決定を^と次^とである。

本問題の協定は決定して総理の本
件と大統領と空しく討議し解決を

向山は用意がなされたことと
この地有用
である。

本報告上の文書には記載されて
他の重要^{条件}は後部に伴う財政

面の問題と日本側の建設的態度
特に会談の友好的雰囲気と評価し、

解決への到達を期待する。
後部問題とは別に^上文書中に
出ている

2回向山清問題につき、大統領は
総理と日本側の輸入・投資奨励
促進と、

議議の対米輸出問題を
検討した。 (以下別途記録「日米経済
関係参照」)

総理：(他発言後) 概の構想は「貯蔵」と同義
 語であらう。いつまでか話し合えるか？ 合計
 加算原則 (22) を作ったが、二本と示すか？
 方法は伸と無しのでは？ 最終と出さる
 のは共同問題か — 誰と相談せよ？ 他人と
 するが、本国の大臣の話し合いであり、外
 務大臣と相談に任ずるべきである。二本は
 想像の外の問題である...

大臣： 概は 2-3 本あり。
 先般愛知大臣の共同声明案は 7112
 問題
 今までの協定、合意した内容は、7112 のみ
 に限定したい。そのお話しがあったか？ 本国
 本国政府より単一問題に限定される
 聖蹟、早稲等を含む、多岐通常の形式の

共同声明の望む旨案文(これは日有例に改め
 ず)と共に訓令を提出した。本件は二
 方面(東洋局長、2+60 公理ハルに協定
 に基づく)が、概に好い内容ではあるかと
 思われる。(尤も織維は一寸別な) 早稲
 に 7112 も、戦略兵器制限条約の定型的 (standard)
 の文言を各人が入るは如何。
 外務大臣： (米軍に) NPT は 0. 色々 入ったか？ 抑も
 内容とその他一般に分けた。2 本連の共同
 声明とした如何。或は 75-1 は joint
 press release の形とする案あり。
 大臣： 抑も 75-1 の文章を最後の項目として分離する
 か否か、案ありか。
 総理： NPT に入れるのは好い。(東洋局長：
 案ありと記入ある) 併存)

外務大臣: 国内側が自主的に方針を率領してある。
大臣: 国内側が対応しているが、協定がない。

外務大臣: NPT以外は七山程困難ではあるが、
東部部長: 経済問題もある。

総理: 経済問題は抽象的な面から言えるが、
右が今後日本がその努力する方向に緊張

緩和がある。(二ヶ)
表裏に書く必要はないが、
声明書の中身がどうかは、緊張緩和

とは方向が違ふ様だ。書かなくてはならぬが、
書かない方がよくないか?

大臣: ちと協定致したい。本国は何かの言葉
がほしい様だ。前日の共同声明は、

欠けていたと注意を要する。
総理: 中身の反省を求め、これは必要がある。

大臣: 七ヶは良い論案である。
外務大臣: 概していい、米側側面を心配していい

問題は、当面と当面の理解(2113)が
であり、その中に含まれたセリヤの案を二ヶ

が追加(1)があり、その案が本^{問題}に
1137を伴う。大臣と「不」公使もよく

御理解のことは思いますが、ワシントン説程に
助力願う。

大臣: 大臣の案には多大の考慮がなされた
ことは本国内でも言えるが、全く反対が

通って来た。興味ある形式(interesting
form)だが、米側と二ヶは問題である。

(先月までの)ワシントン説程は「総合的
姿勢は抑止力の心理面の維持で、
抑止力の如何なる要素を減退して、

印系を予えてはな^らない、と訂正^しる。
- 11月21日 - 殿に相談^しては頂^きたいが

在^る神化学兵器撤去^を急^ぎに^して、実施^に
に向^きて努力^してきたが、目下^に在^る内閣^に

~~除^きて~~ 除^きて113。印系^を米国内^に法^律は、特^に
か^る程^の案件^には^不感^成て^おり、撤去^を

CBR兵器の撤去^には^法律^上の特別取^扱
り^が必要^として、既に^予定^された^と開始

した。この撤去作業開始^は敵理御訪^に
米連後(定^期に^合理的^な期限^必ず)を^要す^と
(期限^{12/15})

という^理由^である。
敵理: 公明党の米軍基地^実態^調査^について
「変更^をして^はす^とスハイ^行政^には^補て^られる

慣習^と注意^{(を}お^した^が、筆^がお^か
ま^らない、とか「X-2Bは^どう^の方^向に^向いて

113、^有り^と言^って^も、創^設学^会全^体の^情報^に関^し
大臣: 「友好^人士、^とい^うに^は、^印系^を撤去^を促^す^た

許可^{(を}と^り、^其の^結果^が二^の標^本に^対して^も、
総理: 政^府と^公明^党に^対して^も、^平穩^に進^めて^いく

るか、^因に^二の^標本^が撤去^を、^必ず^とな^りて^いく^に、
大臣: 事^件の^科学^的に^二、^必ず^とな^りて^いく^に、

撤去^が効^果を^もたら^ない^と、^大事^とな^りて^いく^に、^右
尾^崎政^務長^官に^は、^実施^に向^きて^いく^に、

有^りか、^先に^二の^標本^に関^して^も、
総理: 二^の標^本を^撤去^す^に、

と^いう^に、^印系^を撤去^を促^す^た、^臨時^に二^の標^本に^関
て^いく^に、^其の^時期^は13日^の内^に決^まる

と、12月12日^とな^りて^いく^に、
(大臣の^答へに^答へ) 敵^理御^訪に^関して^も、
・^因に^二の^標本^が撤去^を促^す^た、^印系^を撤去^を促^す^た

是く新外は選考は不安、拙く行記も同じ。
しか衛^子以^子加^子の選考総監職位ノ官位

加^子行^子有^子あ^子れ^子る。 (大佐の12月-1月には休暇
をとり、その間12月) 正月加^子来^子ると、

選考をやるとも在り。

(以上は公法終了、大佐の「官」制が未だ
新外^子加^子る、と^子言^子ふ。 ^{外務}大佐の7月21日計)

「南日は難読せられた、と言ふに已程、了済。」

1969. 11. 11

(1969. 11. 11)

SECRET

The President looks forward to his meeting with the Prime Minister in mid-November and believes that their review of common problems will be valuable to both governments. The President believes that a full discussion regarding Okinawa reversion is particularly desirable.

The draft joint communique reflects a high degree of common understanding on the conventional use of bases in Okinawa and Japan following reversion. The President will want to confirm these important understandings with the Prime Minister.

The issue of continued nuclear storage after reversion is a major one which the President will want to explore carefully with the Prime Minister. We want the Prime Minister to know that we appreciate and sympathize with his political problems in Japan. At the same time, nuclear storage is a vital element in our strategic strength in the area, and as exemplified by the Byrd "sense of the Senate" Resolution any proposal to limit that storage poses serious strategic and political issues for the U. S. It is, of course, our desire to work out the best possible arrangements to meet the problems faced by both governments. Thus, the President does not want to make any decision on this matter so important to both himself and the Prime Minister until they can discuss it together. In such a discussion and in making his decision, it would be helpful if the Prime Minister would be prepared to discuss this issue in depth with the President and to explore possible solutions which would meet both countries' requirements.

In addition to the above issues directly connected with reversion, the President will want to talk to the Prime Minister about bilateral economic issues that are of deep concern in the U. S. These particularly involve the problem of the slow pace in the reduction of Japanese import (and investment) restrictions and our inability thus far to arrive at any understanding or means to handle the problem of Japanese exports of

SECRET

SECRET

- 2 -

synthetic textiles and woollens to the U. S. At this time the textile issue is of particular concern to the President. These matters present serious economic and political issues for the U. S. The President hopes that he and the Prime Minister can reach agreement, at least in principle, on an arrangement that will provide comprehensive limitations reasonable to both parties on exports of wool and synthetic products to the U. S.

SECRET

極 秘

アソボ局長

分室

ヤビ(秘)

経済局長

ヤビ(秘) 抄

佐藤総理、米大使公使 (日米経済問題)

44. 11. 11

米北一表記

有 11日午後の本会議での経済部分次の通り

(本席: 総理 外相大臣, アソボ局長, ヤビ(秘) 外務省付(2B12))

小杉秘書長 米大使, ストロン公使, マクニ書記官

大使 (本日の出席は若くは以上より一俣係部分に文書に

ての記録とに以下のとく示した)

次の問題は本日の経済問題である。大體從

ての矢口と 総理と御話し合いの意向である

アキハタ スパスマン 上院議案以下案件並一行

と 総理の意向で七話が出たが、日内

の輸入制限撤廃の促進と、織造の対米
輸入問題の解決が特に重要である。

大體從はとて織造問題は重要である。大體
從とは日米総理との間で少くとも原則的

に合意し、毛織品と花織品の対米
輸出とつて日米双方にとてリスタワルな

COMPREHENSIVE RESTRICTIONS ができると
いいたいと希望した。(注: 通訳者か

COMPREHENSIVE の和訳に当り「アソボ」を出した
ものがちのて 外務大臣の注意を注意)

以上のことは本日の前述の米側との発言
現然不消誤り等と同一にあり、アキ

海軍は米の日米首脳会議から14日11日
長談史の73. 11-11-20の(8)とありとて

その他の少数民族は、^{輸出} 商品の輸入が
政治、社会、経済の分野で

問題となつてゐる。

外務大臣： 政府は [redacted] が在りて、その
先首を認めて、民族先を公明にする

限らざる上、これを奨励する。

総理： [redacted] は私の高校の後輩で、私から
彼の影響を受けた。彼は池田首相

や故大野伴睦に会つた。

大臣： ^{自由} 韓国と12は第1次大戦の
工場労働者、12は同業の労働者

これは6月12日の ^{自由} 労働者の賃上げと関係がある
こと、^{自由} 理由 ^{自由} である。 ^{自由} 自由、自由、自由

^{自由} 自由、自由、自由

総理： 大蔵省に私の先妻が在り、^{自由}
分つた人だ。

大臣： 米国の識者も労働、自由と12は
ことと関係がある。しかし件は

50-60-70% もある品目には212は

秩序ある成長率とある33は

総理： ^{自由} 件は ^{自由} 率の高さは ^{自由} 84% に達し

大蔵省と関係がある。しかし総理と12は

件は ^{自由} 率の大きさは、^{自由} 212は

順次 ^{自由} 率の ^{自由} 率の ^{自由} 率

113か？ 大蔵省 ^{自由} 率の ^{自由} 率

大臣： 大蔵省に ^{自由} 率の ^{自由} 率

（自由） ^{自由} 率の ^{自由} 率

（自由）

自由、自由、自由、自由、自由

香港、韓国、タイ、マレーシア、フィリピン（2113、2114）
の国々は日本同様、BADである。

総理：これらの国々から日本と先立って、と
いふ事がある。国際会議を準備（特に、日本

内）の会議を準備して行くか、と
下相談を（どう）如何？

本日の新備にも出た2113から、日本2国間
協定開始、とある。2113は、とある

新備は、浅水3の4である。
と準備して行くか、下相談を12まで

会議を準備（？）か。

大使：同意である。

総理：先般GATTの事務局長が来日して
その話から、2113の議題は

GATTの会議を準備して行くか、とある。
いた。しかし、11月まで会議を準備（？）

と準備して行くか、分らない。

大使：ワシントンで日本側と国務省と協議して
いこうか、とある。2113まで。

総理：場所と12月まで準備して行くか、

大使：私には分らない。準備して行くか、
日本内、問題の協定は、2113の

会議場所（VENUE）か、一番、12月、
2113から2114まで、2113まで

同意である。

外務大臣：会議の準備は、2国間
協定を要する。

総理：マヤ-大臣には中に在るべき点がある
総理のスタン商務長官の来日の件

如く、内閣はこれらと見なす。

大臣：私の中に在るべき点 ^{御指摘の} スタン-訪日の
除け私の着任前であり、その結果は

知らぬが、自公に決断を促す
事柄と見て、これらは残念であった。

総理：福田 - 浅見のワシントン行は当初の
意向と異なり、彼の報告によれば

内閣を強く理解しているが、代議士
自身も、これを認めるか (否) である。

大臣：この両方訪日は正しいと見なす
(以下他内閣に決断を)

総理：(他内閣に決断後) もう一つ。

至清内閣に付ては、(2=2=1) 相
象は右書と見なす。

(以下他内閣に決断)

極秘

(1184124-12217) 深

SECRET

(第18号)

In addition to the above issues directly connected with reversion, the President will want to talk to the Prime Minister about bilateral economic issues that are of deep concern in the U. S. These particularly involve the problem of the slow pace in the reduction of Japanese import (and investment) restrictions and our inability thus far to arrive at any understanding or means to handle the problem of Japanese exports of

synthetic textiles and wools to the U. S. At this time the textile issue is of particular concern to the President. These matters present serious economic and political issues for the U. S. The President hopes that he and the Prime Minister can reach agreement, at least in principle, on an arrangement that will provide comprehensive limitations reasonable to both parties on exports of wool and synthetic products to the U. S.